

都市再生整備計画 事後評価シート

こまきせんえんせん
小牧線沿線地区

令和2年2月

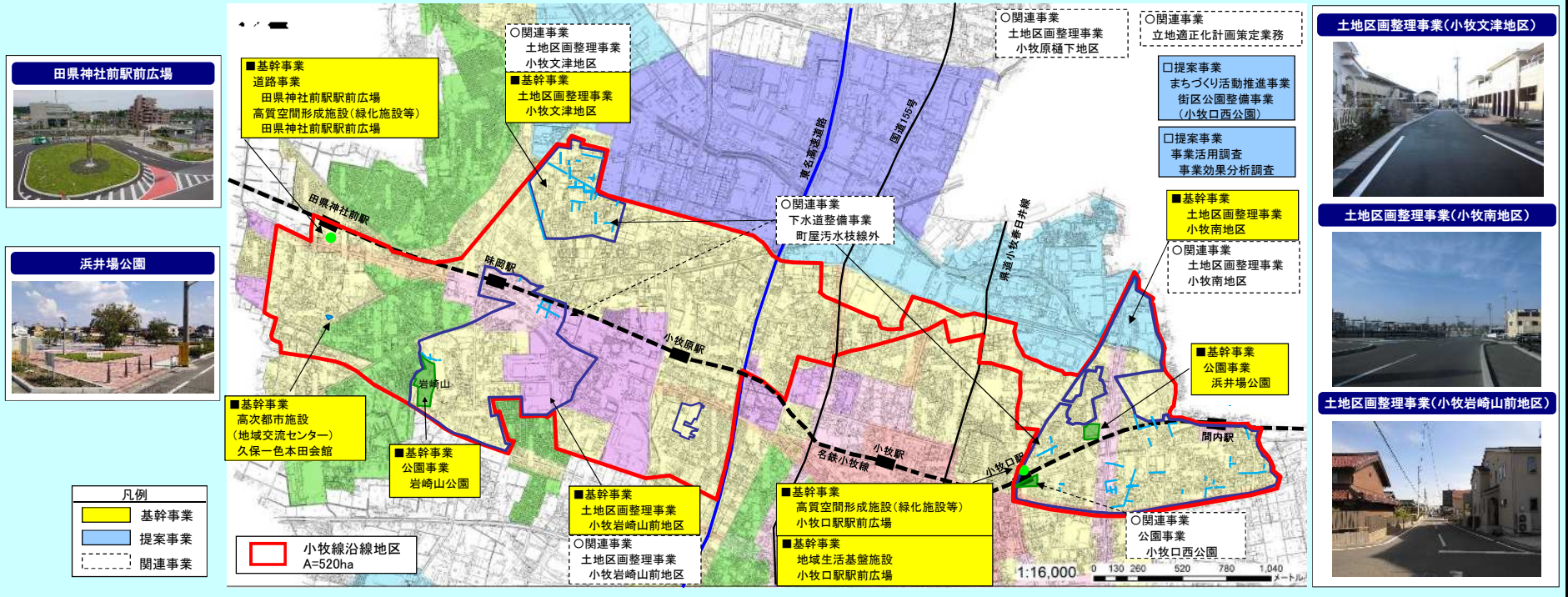
愛知県小牧市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県		市町村名	小牧市		地区名	小牧線沿線地区			面積	520ha		
交付期間	平成27年度～令和元年度		事後評価実施時期	令和元年度		交付対象事業費	2,563.7	国費率	0.412				
1) 事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路:田県神社前駅前広場、公園:岩崎山公園、浜井場公園、高質空間形成施設:田県神社前駅前広場、高次都市施設:久保一色本田会館、土地区画整理事業:小牧文津地区、小牧岩崎山前地区、小牧南地区										
		提案事業	事業活用調査:事業効果分析調査、まちづくり活動推進事業:街区公園整備事業(ワークショップ)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	公園:小牧口西公園、町屋公園、松林東公園		事業スケジュールの変更により削除。			数値目標への影響があるため、目標値を再設定した。					
		提案事業	-										
	新たに追加した事業	基幹事業	地域生活基盤施設・高質空間形成施設:小牧口駅前広場		関連工事の時期が確定し、計画期間内に事業を実施することが確実に became ため、関連事業から移行。			数値目標への影響があるため、目標値を再設定した。					
提案事業		-											
交付期間の変更	当初	-		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-						
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	計画区域内居住率	%	18.3	H26	18.9	R1	18.6	18.8	△	あり	●	令和2年10月
											なし		
指標2	巡回バス利用者数	人/年	159,792	H25	191,750	R1	305,921	341,000	○	あり		令和2年5月	
										なし			
指標3	安全・安心満足度	%	68.3	H25	73.3	R1	59.7	75.0	○	あり		令和2年10月	
										なし			
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1	定住意欲の向上	%	84.1	H27				88.1			●	令和2年10月	
4) 定性的な効果発現状況	本事業で整備した久保一色本田会館は、地元住民で構成される「本田会館(仮称)建設委員会」が中心となって市及び設計事務所と会館設計に関する意見調整を行っている(H26年度)に実施。施設見学や住民要望事項の抽出、建設委員会・市との6回の打合せを実施)。このような住民参加のプロセスを踏んで事業を実施した結果、地元が管理する施設として利用開始する状況に至った。												
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況							
	モニタリング	【交付期間中の計画の監理】 交付期間中は、担当課が中心となり、定期的に事業進捗状況や、事業進捗上の問題点について関係各課と連携して確認することにより、事業遅延等のリスクを削減させる。				都市再生整備計画に記載し、実施できた			●	次期都市再生整備計画時も、定期的にモニタリングを実施する。			
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
住民参加プロセス	【まちづくりの住民参加】 公園整備等について、計画段階からワークショップ手法による住民参加を行い、施設内容だけでなく、施設の維持・管理についても住民自らが実施する方策と体制づくりを住民主体で実施する。				都市再生整備計画に記載し、実施できた			●	今後も、住民や利用者のまちづくりなどへの参加の取組みを推進するとともに、施設に対する住民の愛着が高まるように努める。				
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
持続的なまちづくり体制の構築	・住民主体の防犯活動や美化活動による安全・安心で快適な居住空間の維持 ・岩崎山公園清掃活動を通じた地域固有の自然・歴史的資源の市民の再認識				都市再生整備計画に記載し、実施できた			●	・今後も、引き続き住民主体の地域活動の支援を図る。 ・今後も、引き続き自然・歴史資源再認識のための地域活動の充実を推進する。				
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

様式2-2 地区の概要

小牧線沿線地区(愛知県小牧市) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標 安全・安心で快適な居住空間の創出 目標1 多様なニーズに対応した良好な住環境の形成による人口定着 目標2 自動車に過度に依存しない歩いて暮らせるまちづくり 目標3 災害に強い安全・安心なまちづくり		計画区域内居住率	%	18.3	H26	18.9	R1	18.8	R1
		巡回バス利用者数	人/年	159,792	H25	191,750	R1	341,000	R1
		安全・安心満足度	%	68.3	H25	73.3	R1	75.0	R1
		定住意欲の向上	%	84.1	H27			88.1	R1



まちの課題の変化

【達成されたこと】

- 土地区画整理事業や公園事業の実施等により良好な居住環境が整備・改善されるとともに、元々鉄道駅に近く鉄道利便性が高いことに加えて、こまき巡回バス等公共交通の利便性も高まっていることから、地区内での人口定着が図られたと考えられる。
- こまき巡回バスの利用環境向上の取り組み(利用者ニーズを踏まえたコースの見直し等)や、良好な住環境形成により、交通便利性の高い地域への人口定着(集積)が進んだこと等から、公共交通の利用者が増加したと考えられる。
- 土地区画整理事業により緊急車両の通行が可能な生活道路が確保されたことや、計画区域内に一時避難場所となる公園が整備される等、安全・安心な市街地の形成が進んだ。

【残された未解決の課題】

- 市北部及び南部の住宅市街地での土地区画整理事業を始めとする基盤整備事業が継続中であり、居住環境に課題のある未整備エリアが残っている。また、一定の人口定着が図られている中、高齢化の進展にあっても持続可能なまちの発展に向け、地域コミュニティの活性化や高齢者が健康で元気に暮らしていくための支援等を進める必要がある。
- 将来の少子高齢化の進展を見据え、変化する利用者ニーズ等に柔軟に対応したこまき巡回バス事業の継続実施や駅前広場等の適切な管理等により、自動車に過度に依存しない、歩いて暮らせるまちづくりをさらに進める必要がある。
- 土地区画整理事業が未完了であるため、生活道路が狭いであったり、一時避難場所になり得るオープンスペースが確保できない等、防災上の課題を有するエリアがあることから、今後も都市基盤整備事業を進める必要がある。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- 本事業によって創出された良好な居住環境を維持し、継続的な人口定着を図る。
- 公共交通利便性の高い本地区において人口定着を図る一方で、継続して巡回バス等の公共交通の利便性確保を図る。
- 地域住民の防災意識等を高め、ハード整備により防災性が高まった地域での防災力を強化する。
- 土地区画整理事業の継続的な実施により居住環境の更なる整備・改善を図る。
- 計画段階から利用者の意見を踏まえた拠点整備により、地域コミュニティの活性化推進と高齢者支援を図る。
- 防災面で課題のあるエリアの解消と、近年の自然災害に対応した防災性を高める事業(集中豪雨などによる内水被害を軽減するための事業)を推進する。